

出張医学教育FD(相澤病院)

【日 時】平成28年9月13日(火)

【場 所】相澤病院

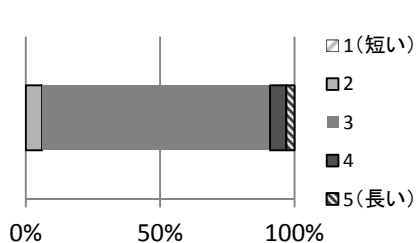
【参加人数】33名

【内 容】

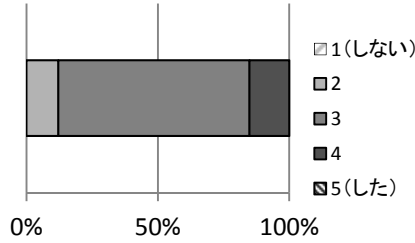
○信州大学の新しい臨床実習

- ・臨床実習の4条件について
- ・ポートフォリオの作り方について
- ・学生を実習に参加させる一工夫をビデオで供覧

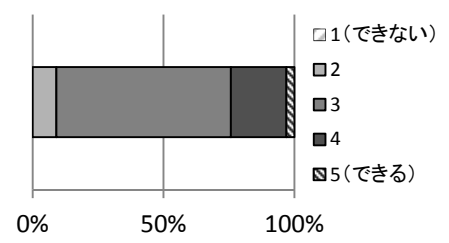
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



意見など

FDで理解できたこと。	FDで理解できなかったこと。	ご意見
ブリーフィングの意義と重要性(複数同意見有)	がくせいの「同意書」→必要な文言、要素。保管に関わる運用手順、など。	無免許学生に診療させることはやはり不安がある。事故責任は?
自分の学生時代とはカリキュラム、進め方などがかなり違ってきていること。	同意書が取れないと実習がほぼできなくなるのでは?	当科では学生の受入は無く、恐らく受け入れることもないので、全科同時に行われるのは辛い。
学生指導は実践しています。特にわからないことはないです。	ビデオは実際のブリーフィングを見せたほうが良い。	最後のビデオは2回見るので、ちょっと長かったかもしれません。
教え方。	学生の評価方法。	出張でのご講義ありがとうございました。お疲れ様でした。
信大の教育方針。(同意見有)	教育システム	少し時間がタイトかもしれません。「形成的評価」は少し補足説明が合った方が良いでしょう。「カルテに記入できない病院」の場合、具体的にどうするのか、例示があるとわかりやすいと思います。
クリニカル・クラークシップの意義。	学生の評価が主観的になってしまわないか。客観性をどう保つか。	
学生に興味を引かせる努力が必要。	具体的な評価方法。	
実習の概要。		
参加型の必要性和重要性。	どの程度参加させられるか、学生の意欲がどのくらいかわからない面はある。やる気のない学生にはエネルギーをかけにくい。	実習する側はする側で大変でしたが、受入・評価する側も大変であることがこちらがわになるとわかります。頑張っている人材を育ててください。
実習前にブリーフィングを行い、終了後に感想を聞くと学生の印象に残りやすい。		
事前の指示だしの重要性。		
医学教育の最近の流れ。ブリーフィングとデブリーフィング。		
学生の具体的な指導。		